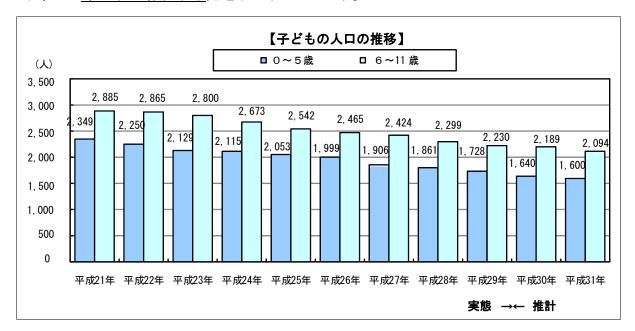
就学前児童人口についても減少傾向となっており、平成31年には就学前児童が1,600人、 小学生が2,094人に減少する見込みとなっています。



資料:平成21年~29年は、各年3月末日現在の住民基本台帳人口(外国人を含む)

### 【子ども人口の推計値】

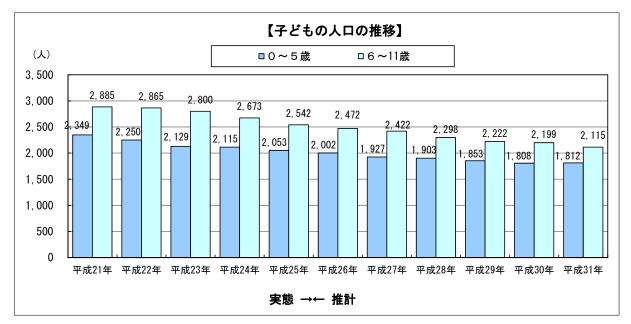
(2)子ども人口の推移

		確定値		推計	十値			
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度			
0歳	238	298	217	248	241			
1歳	341	245	304	217	248			
2歳	282	335	253	304	217			
3歳	340	282	337	253	304			
4歳	362	339	281	337	253			
5歳	343	362	336	281	337			
就学前児童計	1, 906	1,861	1,728	1, 640	1,600			
6歳	403	346	353	336	281			
7歳	375	403	348	353	336			
8歳	376	374	400	348	353			
9歳	375	376	376	400	348			
10 歳	426	376	376	376	400			
11 歳	469	424	377	376	376			
小学生計	2, 424	2, 299	2, 230	2, 189	2,094			
総計	4, 330	4, 160	3, 958	3, 829	3, 694			

現行

# (2)子ども人口の推移

就学前児童人口についても減少傾向となっており、平成31年には就学前児童が1,812人、 小学生が2,115人に達する見込みとなっています。



資料:平成21年~25年は、各年3月末日現在の住民基本台帳人口(外国人を含む) 平成 26 年~31 年推計人口は、平成 21 年~25 年の男女別各歳別人口をもとに、1年ごとの変化率を 算出し、前年人口に掛け合わせて算出(センサス変化率法)

### 【子ども人口の推計値】

【子とも入口の推計値】								
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度			
0歳	292	288	284	276	268			
1歳	312	304	300	296	287			
2歳	283	319	311	307	303			
3歳	343	286	322	314	310			
4歳	357	346	288	325	317			
5歳	340	360	348	290	327			
就学前児童計	1, 927	1, 903	1, 853	1,808	1,812			
6歳	397	342	362	350	292			
7歳	381	397	342	362	350			
8歳	375	380	396	341	361			
9歳	371	375	379	395	341			
10 歳	433	369	373	377	393			
11 歳	465	435	370	374	378			
小学生計	2, 422	2, 298	2, 222	2, 199	2, 115			
総計	4, 349	4, 201	4, 075	4, 007	3, 927			

-8-

現行

# 3. 幼児期の教育・保育の量の見込みと確保方策

量の見込みについては、国の示した計算式で算出するとともに、実態から大きく乖離した サービスについては、これまでの利用実績、ニーズ調査結果、人口推計等から認定区分ごとの 量の見込みを算出しました。

確保方策(供給体制)については、<u>平成29年4月</u>現在、幼稚園が公立私立を併せて9施設、保育所(園)が、公立私立を合わせ<u>10施設、認定こども</u>園が1施設となっています。

供給体制については、0歳児の保育を除いては概ね供給可能となっています。0歳児保育の受入枠の拡大については、ニーズを見極めながら、保育士の確保(潜在保育士含む)に努めることで供給体制の確保に努めます。

#### (1)3歳以上の子ども

3歳以上の子ども<u>については、</u>教育を希望する者(1号認定、2号認定)<u>、保育を希望する</u>者(2号認定)のいずれにおいても現状の施設整備で確保できています。

# <教育を希望する子ども> 1号認定+2号認定(幼稚園)

(単位:人)

` 7/ [7]	(単位:人)								
		実績値	(H29 は見	込値)	計画値				
		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
① 量	1号認定	366	369	284	295	302			
①量の見込み	2号認定(幼稚園)	185	160	180	149	153			
込み	計	551	529	464	444	455			
② 確 保	幼稚園 (特定教育・保育施設** <sup>1</sup> )	510	471	434	434	394			
保の	認定こども園 (特定教育・保育施設 <sup>※1</sup> )	0	1	6	10	61			
の内容	確認を受けない幼稚園**2	41	57	24	0	0			
	2-1	0	0	0	0	0			

# 3. 幼児期の教育・保育の量の見込みと確保方策

量の見込みについては、国の示した計算式で算出するとともに、実態から大きく乖離した サービスについては、これまでの利用実績、ニーズ調査結果、人口推計等から認定区分ごとの 量の見込みを算出しました。

確保方策(供給体制)については、<u>平成27年4月</u>現在、幼稚園が公立私立を併せて9施設、保育所(園)が、公立私立を併せて11施設となっています。

供給体制については、0歳児の保育を除いては概ね供給可能となっています。0歳児保育の受入枠の拡大については、ニーズを見極めながら、保育士の確保(潜在保育士含む)に努めることで供給体制の確保に努めます。

### (1) 3歳以上の子ども

3歳以上の子ども<u>で、</u>教育を希望する者(1号認定、2号認定)<u>については、</u>現状の施設整備で確保できています。

# <教育を希望する子ども> 1号認定+2号認定(幼稚園)

(単位:人)

	- 秋月で印主する」として「う心に」とう心に(4月1日国)						
		27 年度	28 年度	29 4	丰度	30 年度	31 年度
① 量	1号認定	219	209	20	)2	196	201
①量の見込み	2号認定(幼稚園)	389	371	35	58	347	357
込み	計	608	580	56	60	543	558
2	幼稚園 (特定教育・保育施設 <sup>※1</sup> )	593	565	55	57	540	470
②確保方策	認定こども園 (特定教育・保育施設 <sup>※1</sup> )	0	0	3	3	3	88
策	確認を受けない幼稚園**2	15	15	C	)	0	0
	2-1	0	0	C	)	0	0
	確保方策の内容	幼稚園 【平成 27 年 4 月】 富田幼稚園と松尾幼稚園 統合した、「さぬき南幼 園」が開園。 【平成 29 年 4 月】 私立幼稚園 1 園が施設型 付の対象となる予定。		幼稚	民の認定。	型 29 年 4 月】 間の 5 こ と 5 まで 31 年 4 月】 育がと 年 4 園 保 を 施 日 日 日 年 6 年 6 年 6 日 6 日 6 日 6 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日 7 日	・保育施設 幼保連携型 して開園予 羽幼稚園、 及び津田東 した特定教

-58-

-58-

現行

<u>3歳以上の子どもで、保育を必要とする者(2号認定)については、現状の施設整備で確保</u>できています。

# <保育を必要とする子ども> 2号認定(保育所)

(単位:人)

		実績値(H29 は見込値)			計画値	
		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
	① 量の見込み 2号認定(保育所)	466	437	480	587	643
② 確 保	保育所 (特定教育・保育施設 <sup>※1</sup> )	466	437	430	462	422
	認定こども園 (特定教育・保育施設 <sup>※1</sup> )	0	0	50	125	221
の内容	認可外保育施設	0	0	0	0	0
	2-1	0	0	0	0	0

※1 特定教育·保育施設

市町村から「施設型給付」(公費)の対象となると確認された施設

※2 確認を受けない幼稚園

現行の私立幼稚園は、特段の申出を行わない限り「施設型給付」の対象として市町村から確認を受けたものとみなされ、公費の「施設型給付」の対象となりますが、「確認」を受けないと申出を行った幼稚園は、現行のまま私学助成及び就園奨励費補助が継続されます。

### 【確保方策】

当初計画策定後、平成29年4月に民間の特定教育・保育施設のうち1施設が認定こども園として開園し、平成30年4月にはさらに1施設が認定こども園に移行する予定となっています。また、平成31年4月には、津田地区の公立幼稚園2園と公立保育所2施設を統合し、1認定こども園とするほか、平成31年4月には民間事業者による新規認定こども園の開設が予定されており、受け皿の拡大が図られる見込みです。

2号認定のうち、保育を必要とする子どもの量の見込みについては、当初計画時の数字を 大幅に上回る形となっていますが、平成28年、29年の2か年で民間保育所3園において、 定員増加を実施したことなどから、現状の施設で必要量の確保はできています。

# <保育を必要とする子ども> 2号認定(保育所)

(単位:人)

		27 年度	28 年度	29 4	<b>丰度</b>	30 年度	31 年度
	① 量の見込み 2号認定(保育所)	400	382	36	69	358	367
2	保育所 (特定教育・保育施設 <sup>※1</sup> )	400	382	32	28	318	314
2確保方策	認定こども園 (特定教育・保育施設 <sup>※1</sup> )	0	0	4	1	40	53
策	認可外保育施設	0	0	C	)	0	0
	2-1	0	0	C	)	0	0
	確保方策の内容	【平成 27 年	保育所  4月】 併せて 11 施設		民間が、これには、日本のでは、日本の	認定こど 就 29 年 4 月】 間 の 特定教育 ち 1 施設が幼ので で 4 月】 田 幼稚園、鶴 田 中央保育所 保育施設が ・保育施設が	・保育施設の 保連携型認定 開園予定。 羽幼稚園、 及び津田東 した特定教

### ※1 特定教育·保育施設

市町村から「施設型給付」(公費)の対象となると確認された施設

※2 確認を受けない幼稚園

現行の私立幼稚園は、特段の申出を行わない限り「施設型給付」の対象として市町村から確認を受けたものとみなされ、公費の「施設型給付」の対象となりますが、「確認」を受けないと申出を行った幼稚園は、現行のまま私学助成及び就園奨励費補助が継続されます。

-59-

# (2) 3歳未満の子ども

<u>3歳未満の子どもについては、現状の施設整備で確保できていますが、0齢児の年度途中入</u> 所などに対応するため、引き続き保育士の確保等に努めていきます。

# <0歳児> 3号認定

(単位:人)

		実績値(H29 は見込値)			計画値	
		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
① 量の見込み 3号認定(O歳児)		128	128	130	130	122
<b>②</b>	保育所 (特定教育・保育施設 <sup>※1</sup> )	128	128	120	100	74
② 確 保	認定こども園 (特定教育・保育施設 <sup>※1</sup> )	0	0	10	30	48
の内容	地域型保育	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	0	0	0	0	0
	2-1	0	0	0	0	0

# <1.2歳児> 3号認定

(単位:人)

		実績値(H29 は見込値)			計画値	
		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
① 量の見込み 3号認定(1・2歳児)		366	390	390	390	364
<u></u>	保育所 (特定教育・保育施設 <sup>※1</sup> )	366	390	360	330	242
② 確 保	認定こども園	0	0	30	60	122
の内容	地域型保育	0	0	0	0	0
	認可外保育施設	0	0	0	0	0
	2-1	0	0	0	0	0

# 【確保方策】

当初計画策定後、平成29年4月に民間の特定教育・保育施設のうち1施設が認定こども園として開園し、平成30年4月にはさらに1施設が認定こども園に移行する予定となっています。また、平成31年4月には、津田地区の公立幼稚園2園と公立保育所2施設を統合し、1認定こども園とするほか、平成31年4月には民間事業者による新規認定こども園の開設が予定されており、受け皿の拡大が図られる見込みです。

3号認定については、0歳児、1・2歳児ともに、当初計画時の数字を上回っていますが、 平成28年、29年の2か年で民間保育所3園において、定員増加を実施したことなどから、 現状の施設で必要量の確保はできています。 現行

### (2) 3歳未満の子ども

<u>0歳</u>児については、保育士の確保(潜在保育士含む)を行うことで、平成29年度には必要 量を確保できるよう努めます。

# <0歳児> 3号認定

(単位:人)

27 年度 28 年度 29 年度 30 年度 31 年度							
		27 年度	28 年度	29 1	丰度	30 年度	31 年度
① 量の見込み 3号認定(O歳児)		87	86	85		82	80
(0)	保育所 (特定教育・保育施設 <sup>※1</sup> )	87	86	7	4	72	60
②確保方策	認定こども園 (特定教育・保育施設 <sup>※1</sup> )	0	0	1	1	10	20
方策	地域型保育	0	0	C	)	0	0
	認可外保育施設	0	0	C	)	0	0
	2-1	0 0 0		)	0	0	
	確保方策の内容				民が、これは、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	型記定ことでは、29年4月】 成 29年4月】 間の特定とががいた。 は 31年4 園 年 日 園 育 所 会 は の 株 保 条 統 設 に 保 系 統 設 が に い に い に か に い に い に か に い に い に い に い	・保育施設の 保連携型認定 開園予定。 羽幼稚園、 及び津田東 した特定教

# <1·2歳児> 3号認定

(単位:人)

		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	
① 量の見込み 3号認定(1・2歳児)		336	383	376	371	363	
	保育所 (特定教育・保育施設 <sup>※1</sup> )	336	383	343	339	295	
②確保 方策	認定こども園	0	0	33	32	68	
方策	地域型保育	0	0	0	0	0	
	認可外保育施設	0	0	0	0	0	
	2-1	0	0	0	0 0		
<b>か</b> 児士学の中央		保育所			認定こども園		
	確保方策の内容	前	表に同じ		前表に同	じ	

-60-

-60-

# 4. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

(略) ※表の形式のみ変更

-61-

(2)時間外保育事業(延長保育)

保育認定を受けた児童について、保護者の就労時間等により、保育所等における11時間の開 所時間を超えて、保育時間の延長を行う事業です。

#### 【現 状】

<u>平成 29 年度</u>現在、19 時までの延長保育を公立保育所 3 か所、私立保育所 4 か所、認定こど も園 1 か所で実施しています。

- (公立) 富田保育所、志度保育所、長尾保育所
- (私立) 岡野松保育園、葭池保育園、ひまわり保育園、たらちね保育園
- (こども園) 認定こども園だいご

平成27年度以降の利用実績は、約190人です。

# 【量の見込みと確保量】

保量】 (単位:人)

	実績	値(Н29 は見込	計画値		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	190	189	190	190	190
② 確保量	190	189	190	190	190
2-1	0	0	0	0	0

### 【確保方策】

本市における時間外保育(延長保育)は、利用実態を見極めながら延長保育実施施設の拡大等を検討します。

現行

# 4. 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

(略)

-61-

### (2) 時間外保育事業(延長保育)

保育認定を受けた児童について、保護者の就労時間等により、保育所等における11時間の 開所時間を超えて、保育時間の延長を行う事業です。

# 【現 状】

平成 26 年度現在、19 時までの延長保育を公立保育所 3 か所、私立保育所 5 か所で実施しています。

- (公立) 富田保育所、志度保育所、長尾保育所
- (私立) 岡野松保育園、葭池保育園、ひまわり保育園<u>、石田保育園</u>、たらちね保育園 平成 25 年度利用実績は、191 人です。

### 【量の見込みと確保量】

(単位:人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	155	153	149	145	146
②確保量	155	153	149	145	146
2-1	0	0	0	0	0

# 【確保の内容】

本市における時間外保育(延長保育)は、利用実態を見極めながら延長保育実施施設の拡大等を検討します。

-62-

-62-

### (3) 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

共働き家庭など留守家庭の児童に対し、放課後や長期休業中に学校の余裕教室などで、適切な遊びや生活を提供し、児童の健全育成を図る事業です。

### 【現 状】

平成 29 年度現在、小学校敷地内の余裕教室や専用施設、児童館、児童ふれあいセンター等 を利用して、9か所で実施しており、480人の児童が在籍しています。

<u>平成 29 年度</u>現在は、1年生から<u>4年生</u>の受け入れとなっており、待機児童は発生していません。

### 【量の見込みと確保量】

<低学年> (単位:人)

	実績値(H29 は見込値)			計画値		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
① 量の見込み	443	412	415	400	381	
② 確保量	443	401	415	400	381	
3 -1	0	-11	0	0	0	

<高学年>

(単位:人)

	実績	値(H29 は見込	計画値		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	36	46	65	80	80
② 確保量	36	46	65	80	80
3 -1	0	0	0	0	0

### 【確保方策】

低学年については、現状で需要に見合う施設(事業)が確保できています。

高学年については、新たな施設整備や余裕教室等を活用するなどして、実施場所の確保に努め、 段階的に事業を実施していきます。 現行

### (3) 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

共働き家庭など留守家庭の児童に対し、放課後や長期休業中に学校の余裕教室などで、適切な遊びや生活を提供し、児童の健全育成を図る事業です。

### 【現 状】

平成 26 年度現在、小学校敷地内の余裕教室や専用施設、児童館、児童ふれあいセンター等を利用して、9か所で実施しており、386人の児童が在籍しています。

平成 26 年度現在は、1年生から3年生の受け入れとなっており、待機児童は発生していません。

### 【量の見込みと確保量】

<低学年> (単位:人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	438	426	418	400	381
②確保量	438	426	418	400	381
2-1	0	0	0	0	0

<高学年> (単位:人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	299	278	265	270	262
②確保量	299	278	265	270	262
2-1	0	0	0	0	0

### 【確保方策】

低学年については、現状で需要に見合う施設(事業)が確保できています。

高学年については、新たな施設整備や余裕教室等を活用するなどして、実施場所の確保に努め、 段階的に事業を実施していきます。

-63-

(4)子育て短期支援事業

(略) ※表の形式のみ変更

-64-

変 更 案

### (5) 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)

生後4ヶ月までの乳児のいる全家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や教育環境等の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、<u>助言や保健師等への橋渡しを行うことで、</u>育児の孤立感を解消し、安心して子どもを育てられる環境づくりを担う事業です。

### 【現 状】

「出生届」を提出頂いた方を対象に、さぬき市より委嘱を受けた民生委員児童委員・主任 児童委員の訪問スタッフが、家庭訪問を行い、子育てに役立つ情報を届けており、<u>平成28年</u> 度実績では、216人に実施しています。

また、「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施した方には、お子さんが1歳になられた時、再 度民生委員児童委員・主任児童委員さんが訪問しています。

# 【量の見込みと確保量】

(単位:人)

	実績値(H29 は見込値)			計画値	
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	296	216	276	268	260
② 確保量	296	216	276	268	260
2-1	0	0	0	0	0

※量の見込みは、0歳児人口を設定

### 【確保方策】

提供体制は現状で確保できているため、今後は、訪問率100%をめざします。

### (4)子育て短期支援事業

(略)

現行

### (5) 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)

生後4ヶ月までの乳児のいる全家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や教育環境等の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行う事業です。

### 【現 状】

「出生届」を提出頂いた方を対象に、さぬき市より委嘱を受けた民生委員児童委員・主任児童委員の訪問スタッフが、家庭訪問を行い、子育てに役立つ情報を届けており、平成25年度実績では、308人に実施しています。

また、「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施した方には、お子さんが1歳になられた時、再 度民生委員児童委員・主任児童委員さんが訪問しています。

# 【量の見込みと確保量】

(単位:人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	292	288	284	276	268
②確保量	292	288	284	276	268
2-1	0	0	0	0	0

※量の見込みは、0歳児人口を設定

#### 【確保方策】

提供体制は現状で確保できているため、今後は、訪問率100%をめざします。

-65-

-65-

# 現行

# (6)養育支援訪問事業

養育支援が必要な家庭を訪問して、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるために 支援を行う事業です。

# 【現 状】

平成 28 年度実績: 18人

乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)の面談等により、子育てに対して不安 や孤立感を抱える家庭または虐待の恐れやリスクを抱える家庭を把握し、助産師等が訪問・ 相談指導を行っています。

### 【量の見込みと確保量】

(単位:人)

	実績	値(H29 は見込	計画値		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	18	18	18	18	18
② 確保量	18	18	18	18	18
2-1	0	0	0	0	0

### 【確保方策】

提供体制は現状で確保できているため、関係機関と連携して養育支援が必要な家庭の把握に 努め、事業の利用につなげていきます。

### (6)養育支援訪問事業

養育支援が必要な家庭を訪問して、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるために 支援を行う事業です。

### 【現 状】

平成 25 年度実績: 6 人

乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん訪問) の面談等により、子育てに対して不安 や孤立感を抱える家庭または虐待の恐れやリスクを抱える家庭を把握し、助産師等が訪問・ 相談指導を行っています。

# 【量の見込みと確保量】

(単位:人)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	5	5	5	5	5
②確保量	5	5	5	5	5
2-1	0	0	0	0	0

※量の見込みは、過去の実績を基に算出。

### 【確保方策】

提供体制は現状で確保できているため、関係機関と連携して養育支援が必要な家庭の把握に 努め、事業の利用につなげていきます。

-66-

-66-

### (7) 地域子育て支援拠点事業

主に3歳未満の児童及び保護者を対象に、公共施設や保育所等の地域の身近な場所で、育児不安などについての相談・指導、子育てサークル等への支援、子育てに関する情報提供、育児講習等の事業を行い、地域の子育て家庭に対する支援を行う事業です。

### 【現 状】

<u>平成 29 年 4 月</u>現在、葭池保育園 、<u>認定こども園だいご</u>、たらちね保育園、ひまわり保育園の 4 施設において実施しており、<u>平成 28 年度</u>利用実績  $(0\sim2$  歳) は 10,213 人回となっています。

平成27年4月に、ひまわり保育園が<u>開設するとともに、利用者は増加傾向にあります。</u> おおむね3歳未満児を対象とした事業ですが、3歳以上児の利用もみられます。

# 【量の見込みと確保量】

(単位:人回)

	実績	値(H29 は見込	計画値		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	9, 663	10, 213	10, 800	11, 200	11, 500
② 確保量	9, 663	10, 213	10, 800	11, 200	11, 500
か所数	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所
2-1	0	0	0	0	0

#### 【確保方策】

実績の推移を見守りながら、適宜、相談体制の強化に努めます。

### 現行

#### (7) 地域子育て支援拠点事業

主に3歳未満の児童及び保護者を対象に、公共施設や保育所等の地域の身近な場所で、育児不安などについての相談・指導、子育てサークル等への支援、子育てに関する情報提供、育児講習等の事業を行い、地域の子育て家庭に対する支援を行う事業です。

# 【現 状】

<u>平成 26 年 4 月</u>現在、葭池保育園、<u>石田保育園</u>、たらちね保育園<u>の 3 施設</u>において実施しており、平成 25 年度利用実績 $(0\sim2$  歳) は 8,033 人となっています。

平成27年4月に、ひまわり保育園が開設予定です。

おおむね3歳未満児を対象とした事業ですが、3歳以上児の利用もみられます。

# 【量の見込みと確保量】

(単位:人回)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	29, 340	30, 612	29, 604	29, 076	28, 380
②確保量	29, 340	30, 612	29, 604	29, 076	28, 380
か所数	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所
2-1	0	0	0	0	0

※量の見込みは、毎年の実績にばらつきがあり、今後の動向を予測すること が難しいため、過去の最大利用率実績に推計人口を乗じて算出。

### 【確保方策】

実績の推移を見守りながら、適宜、相談体制の強化に努めます。

-67-

-67-

# (8) 一時預かり事業

# ①幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(幼稚園型)

幼稚園が在園児を対象に、通常の教育時間の終了後や、長期休業中に教育活動を行う事業 で、現在の「預かり保育」です。今後、幼稚園が認定こども園に移行して保育認定を受けた 子どもを受け入れ、施設型給付を受けることになるものを除き、新制度においては、一時預 かり事業として実施されます。

# 【現 状】

平成29年度現在、全ての幼稚園で実施しています。

### 【量の見込みと確保量】

(単位:人日)

	実績値(H29 は見込値)			計画値		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
① 量の見込み	31, 671	33, 303	30, 584	31, 017	32, 904	
(1号認定)	1, 191	1, 396	_	_	_	
(2号認定)	30, 480	31, 907	_	_	_	
② 確保量	31, 671	33, 303	30, 584	31, 017	32, 904	
2-1	0	0	0	0	0	

### 【確保方策】

保護者の就労支援や子育て支援の場として、また保護者が安心して預けられる場として、全 ての幼稚園で実施しており、現体制で提供可能となっています。

# ①幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(幼稚園型)

幼稚園が在園児を対象に、通常の教育時間の終了後や、長期休業中に教育活動を行う事業で、現在の「預かり保育」です。今後、幼稚園が認定こども園に移行して保育認定を受けた子どもを受け入れ、施設型給付を受けることになるものを除き、新制度においては、一時預かり事業として実施されます。

現行

# 【現 状】

(8) 一時預かり事業

平成26年度現在、全ての幼稚園で実施しています。

# 【量の見込みと確保量】

(単位:人日)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	39, 323	39, 831	35, 881	34, 697	36, 334
(1号認定)	1, 334	1, 351	1, 217	1, 177	1, 233
(2号認定)	37, 989	38, 480	34, 664	33, 520	35, 101
②確保量	39, 323	39, 831	35, 881	34, 697	36, 334
2-1	0	0	0	0	0

### 【確保方策】

今後の児童人口減少にともない、ニーズ量も減少する見込みとなっており、現体制で提供可能となっています。

-68-

-68-

# ②幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(幼稚園型)以外

保護者の病気等により家庭において一時的に保育を受けることが困難となった児童を、保育所等で受け入れ、保育を行う事業です。

# 【現 状】

平成29年度現在、公立保育所1か所と<u>私立保育園1か所、認定こども園1か所</u>で実施しています。

# 【量の見込みと確保量】

(単位:人日)

	実績	値(H29 は見込	計画値		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	1, 447	1, 556	1, 720	1, 900	2, 100
② 確保量	1, 447	1, 556	1, 720	1, 900	2, 100
2-1	0	0	0	0	0

# 【確保方策】

現体制で提供可能と考えますが、実績の推移を見守りながら、適宜、確保策に努めます。

現行

# ②幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(幼稚園型)以外

保護者の病気等により家庭において一時的に保育を受けることが困難となった児童を、保育所等で受け入れ、保育を行う事業です。

# 【現 状】

<u>平成26年度</u>現在、公立保育所1か所と<u>私立保育園2か所</u>で実施して<u>おり、平成25年度実績は、1,843人日となって</u>います。

# 【量の見込みと確保量】

(単位:人日)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	3, 126	3, 125	3, 051	2, 983	2, 964
②確保量	3, 126	3, 125	3, 051	2, 983	2, 964
2-1	0	0	0	0	0

### 【確保方策】

現体制で提供可能と考えますが、実績の推移を見守りながら、適宜、確保策に努めます。

-69-

-69-

# (9) 病児・病後児保育事業

児童が発熱等の急な病気になった場合に、病院・保育所等に付設された専用スペースにおいて、看護師等が一時的に保育を行う事業です。

### 【現 状】

平成29年度現在、さぬき市民病院 病児・病後児保育室「コスモス」で実施しています。 定員は1日4人、対象は生後6か月から<u>小学校6年生</u>の児童となっており、<u>平成28年度</u>利 用実績は<u>650人日</u>となっています。インフルエンザ等の感染症の流行により、利用者数の増 減があります。

### 【量の見込みと確保量】

(単位:人日)

	実績	値(H29 は見込	計画値		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	514	650	720	790	790
② 確保量	514	650	720	790	790
市内施設数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
2-1	0	0	0	0	0

### 【確保方策】

現体制でニーズに対応する事は可能と考えますが、インフルエンザ等の流行度合によりニーズ 量が変動するため、今後、実績の推移を見守りながら、適宜、医療機関等と検討を行い確保策に 努めます。 現行

### (9) 病児・病後児保育事業

児童が発熱等の急な病気になった場合に、病院・保育所等に付設された専用スペースにおいて、看護師等が一時的に保育を行う事業です。

### 【現 状】

平成 26 年度現在、さぬき市民病院 病児・病後児保育室「コスモス」で実施しています。 定員は1日4人、対象は生後6か月から小学校3年生の児童となっており、平成25年度利用実績は428人日となっています。インフルエンザ等の感染症の流行により、利用者数の増減があります。

# 【量の見込みと確保量】

(単位:人日)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	950	950	950	950	950
②確保量	950	950	950	950	950
市内施設数	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
2-1	0	0	0	0	0

#### 【確保方策】

現体制でニーズに対応する事は可能と考えますが、インフルエンザ等の流行度合によりニーズ 量が変動するため、今後、実績の推移を見守りながら、適宜、医療機関等と検討を行い確保策に 努めます。

-70-

-70-

### (10) ファミリー・サポート・センター事業(子育て援助活動支援事業)

乳幼児から高校生(18歳)までの児童を有する子育て家庭を対象に、育児の支援をお願いしたい人(おねがい会員)と、育児の援助を行いたい人(まかせて会員)が会員登録をし、会員相互間で育児の援助を行う事業です。

# 【現 状】

おねがい会員・まかせて会員ともに年々増加しており、<u>平成28年度</u>利用実績は、<u>1,260 人</u> **B**となっています。

活動内容として、送迎事業(保育所・幼稚園利用前後の送迎、学童保育利用前後の送迎) や冠婚葬祭、兄弟姉妹の学校行事の際の預かり等となっています。

### 【量の見込みと確保量】

(単位:人日)

	実績	値(H29 は見込	計画値		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	1, 275	1, 260	1, 270	1, 300	1, 300
② 確保量	1, 275	1, 260	1, 270	1, 300	1, 300
2-1	0	0	0	0	0

### 【確保方策】

利用件数を増やすためには、まかせて会員の増加が必要となることから、継続的にファミリー・サポート・センターについての情報提供を行い、会員の増加を図ることで、必要量を確保します。

現行

### (10) ファミリー・サポート・センター事業 (子育て援助活動支援事業)

乳幼児から高校生(18歳)までの児童を有する子育て家庭を対象に、育児の支援をお願いしたい人(おねがい会員)と、育児の援助を行いたい人(まかせて会員)が会員登録をし、会員相互間で育児の援助を行う事業です。

### 【現 状】

おねがい会員・まかせて会員ともに年々増加しており、<u>平成25年度</u>利用実績は、<u>低学年</u>634人、高学年208人となっています。

活動内容として、送迎事業(保育所・幼稚園利用前後の送迎、学童保育利用前後の送迎) や冠婚葬祭<mark>や兄弟</mark>学校行事の際の預かり等となっています。

# 【量の見込みと確保量】

(単位:人日)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	1, 153	1, 153	1, 153	1, 153	1, 003
②確保量	1, 153	1, 153	1, 153	1, 153	1, 003
2-1	0	0	0	0	0

### 【確保方策】

利用件数を増やすためには、まかせて会員の増加が必要となることから、継続的にファミリー・サポート・センターについての情報提供を行い、会員の増加を図ることで、必要量を確保します。

-71-

-71-

#### (11) 妊婦健診事業

母子健康法第13条の規定によりさぬき市に住所を有する妊婦を対象に、安心して妊娠・ 出産を迎えることができるように、妊婦の健康診査にかかる費用の一部を助成し、経済的 な負担を軽減する事業です。

### 【現 状】

県内の医療機関に委託して実施しており、<u>平成28年度</u>実績で<u>224人(受診率82.2%)</u>となっています。

妊婦に対する健康診査等の内容及び受診回数

○妊婦一般健康診査 14回以内(妊婦一人につき助成券を14枚交付)

• 梅毒血清反応検査

・子宮頸がん検診(細胞診)

• B型肝炎抗原検査

· C型肝炎抗体検査

・HIV抗体検査

・風疹ウイルス抗体検査

• 妊婦超音波検査

・HTLV-1 抗体検査・性器クラミジア検査

○妊婦歯科健康診査(市内の歯科のみ)

# 【量の見込みと確保量】

・GBS検査

(単位:人回)

	実績値(H29 は見込値)			計画値	
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
① 量の見込み	3, 183	2, 578	3, 192	3, 570	3, 472
② 確保量	3, 183	2, 578	3, 192	3, 570	3, 472
2-1	0	0	0	0	0

### 【確保方策】

必要量を提供する体制はできており、今後は受診率の向上に努めます。

#### \_\_\_\_\_ (11)妊婦健診事業

母子健康法第13条の規定によりさぬき市に住所を有する妊婦を対象に、安心して妊娠・ 出産を迎えることができるように、妊婦の健康診査にかかる費用の一部を助成し、経済的 な負担を軽減する事業です。

現行

### 【現 状】

県内の医療機関に委託して実施しており、<u>平成25年度</u>実績で<u>285人(受診率92.5%)</u>となっています。

平成 26 年度 妊婦に対する健康診査等の内容及び受診回数

○妊婦一般健康診査 14回以内(妊婦一人につき助成券を14枚交付)

梅毒血清反応検査

・子宮頸がん検診(細胞診)

• B型肝炎抗原検査

C型肝炎抗体檢查

H I V抗体検査

・風疹ウイルス抗体検査

• 妊婦超音波検査

• 妊婦歯科健康診査

HTLV-1 抗体検査

GBS検査

・性器クラミジア検査

# 【量の見込みと確保量】

(単位:人回)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
①量の見込み	3, 780	3, 724	3, 682	3, 570	3, 472
②確保量	3, 780	3, 724	3, 682	3, 570	3, 472
2-1	0	0	0	0	0

# 【確保方策】

必要量を提供する体制はできており、今後は受診率の向上に努めます。

-72-

-72-